

東城支所 観光名所の復活を目指す 帝釈峡の現状と将来展望を考える会（仮称）



橋の上から湖面の確認

7月9日、帝釈峡の現状と将来展望を考える会（仮称）が開催されました。帝釈峡の現状を把握するため、木山耕三市長をはじめ神石高原町の森重純也副町長や、帝釈峡に係る各団体の方々を含め12人で視察。遊歩道の状況や、神龍湖に漂う流木およびごみの現状、水質悪化状況も併せて確認しました。現地視察の後、株式会社帝釈峡遊覧船の会議室に場所を移し意見交換会が開催され、「神龍湖のこみ・水質について、観光客から厳しい意見をもらっている」「遊歩道については20年余り通行止めになっており、かつて復旧に向けた要望活動を行ったが前に進んでいない」「さまざまな課題があり状況は大変厳しいが、関係団体と協力していきたい」など、帝釈峡の現状についてそれぞれの意見が交



意見交換会の様子



遊歩道の現状確認

換されました。また、今後組織の体制や活動方法を検討していくこととし、この会の組織化に向けて、会の名称を「帝釈峡いちばん愛する会」としました。市では、神石高原町などと協力しながら、両市町の誇る観光名所の環境改善と観光客数の回復を目指して、継続的に要望などの活動を行っていきます。

生涯学習課 庄原市スポーツが盛り上がる 第27回庄原市スポーツフェスティバルと庄原市総合体育館入館者150万人達成記念事業の開催

誰もがスポーツに親しみ、健康づくり・体力づくりをはじめ、互いの交流を深めることを目的とした生涯スポーツの祭典「庄原市スポーツフェスティバル」を開催しました。本年で27回目となるこの大会は、毎年多くの市民が参加する、市を代表する一大イベントとして定着しています。今回は21種目の競技や体験教室などが市内の各会場で実施され、各選手がさわやかな汗を流しました。

また、7月9日に行った「スポーツフェスティバル総合開会式」では、平成5年に開館した庄原市総合体育館の入館者が150万人に到達したことを祝し、記念式典を併せて開催しました。



米村副市長(左)から堀田さん(右)に花束贈呈



全選手を代表して力強く選手宣誓

管財課 建設会社と技術者の施工能力を評価 優良建設工事施工業者の認定、優良技術者の表彰



7月24日、本年度の庄原市優良建設工事施工業者の認定式ならびに優良技術者の表彰式を市役所で開催しました。この制度は、建設会社の技術力向上を目的として、市が発注する契約額500万円以上の建設工事について、品質や出来栄、安全対策などを総合的に評価する「工事成績評定点」が82点以上（100点満点）の成績を収めた工事の施工業者および技術者を認定・表彰するものです。平成28年度に完成した対象工事80件のうち、優れた工事施工により認定基準を満たした施工業者3社を「優良建設工事施工業者」前列左から大歳組取締役副社長黒谷武晴さん、木山市長、小林建設専務取締役小林護さん、大和建設取締役部長藤原由雄さん、後列左から大歳組角祐二さん、同総務部長後列右から大歳組角祐二さん、同今田憲孝さん、大和建設山岡昌照さん

○優良認定業者および優良技術者（敬称略）

優良認定業者名	対象工事名	優良技術者名
(株)大歳組(東本町)	庄原小学校グラウンド整備(I期)工事	角 祐二
(株)大歳組(東本町)	本村地区 送配水管(4工区)布設工事	鯨谷 忠春
小林建設(株)(東本町)	市道高瀬線 道路改良工事	山岡 弘樹
小林建設(株)(東本町)	庄原駅周辺地区土地区画整理(2-3街区)宅地整地工事	今田 憲孝
(株)大和建設(七塚町)	市道横島高茂線(1工区)道路改良工事	山岡 昌照

業者」として認定し、工事を担当した技術者5人を「優良技術者」として表彰しました。優良建設工事施工業者の(株)大和建設は、3年連続の認定となりました。木山耕三市長は、認定書と表彰状を手渡し「今後も高い技術力を市民の安心安全のため、役立ててください」と述べました。

いちばんづくり課 恋のチャンステーマが鳴り響く！ 恋—kabuku—縁結び

縁結びイベント「恋—kabuku—縁結び」を7月1日、マッダスタジアムをメイン会場に開催し、男女各22人、計44人が参加しました。試合観戦の前に、まずは球場近くのアークホテル広島駅南で全員が対面し、1人3分ずつ互いに向かい合って自己紹介を行いました。最初は皆さん緊張の面持ちでしたが、硬い表情が徐々に笑顔に変わり、カッブル誕生へと期待が高まりました。その後、球場へ移動した参加者は、3塁側コンコース上にある「ラグジュアリーフロア」に到着。全員が初めて入ったという特別な空間で、試合開始とともにパーティーがスタート。お気に入りの選手や得点シーン、お互いのプライベートな話題などで会話を弾ませました。この日は、縁結びコンシェルジュ2人が恋の相談役として参加者をサポート。試合もエルドレッド選手の三打



特別な空間と好試合で恋も進展!

席連続本塁打など盛り上がる場面が多く、理想的な試合展開でカープが勝利!この結果、見事9組のカップルが成立しました。しょうばろ縁結びは、これからも成婚につながる取り組みを進めていきます。最新のセミナーやイベント情報は、しょうばろ縁結びホームページ (<http://shobara-ennusubi.jp>)をご覧ください。



スライリーも激励に参上!



ヘアシートで試合を楽しむ参加者

商工
観光課

外国人観光客の誘致を目指す

庄原市が香港・台湾でプロモーション



旅行会社への個別訪問(台湾)

庄原市の観光関係者で組織する庄原観光いちばん協議会は、外国人観光客の誘致を目指し、7月3日から8日にかけて香港・台湾で観光プロモーション事業を行いました。

プロモーションでは、香港・台湾の大手旅行会社11社を個別訪問し、本市の観光スポットや観光ルートなどを紹介しながら、本市への誘客を依頼しました。また、中国地域観光推進協議会ならびに中国運輸局主催の「2017中国地方インバウンドフォーラム 台湾・香港での観光情報説明会・商談会・意見交換会」では、計12社の旅行会社と商談を行いました。



中国地方インバウンドフォーラム(香港会場)

庄原市は、まなみ街道などを利用するルートが多く、香港・台湾の旅行者が多数本市を経由している。まずは立ち寄りポイントとしての庄原を確立させることで、食事、体験、宿泊などへと誘客を拡大していける」と手応えを感じていました。

建設課

降雨に備えて

庄原市一斉防災点検



のり面の点検の様子

市は、6月の土砂災害防止月間に合わせ、市内の市道のり面などの一斉点検を実施しました。災害を未然に防ぐため、市職員がひび割れや落石、倒木の有無などを目視点検し、対応が必要かチェックしました。

市は、日常パトロールや月1回の道路パトロールを行っています。が、道路施設の経年劣化による被害や落石などによる被害が増えています。

近年は異常降雨がたびたび起こっています。地域周辺で異常を発見した場合は、すぐに建設課(☎0824・73・1152)へ連絡をお願いします。

比和支所

体験などを通して本当の大きさに気付く

社会科見学で浄水場を見学



給水車から水をくむ体験をする児童

7月6日、比和小4年生の児童が、社会科見学で比和浄水場と浄化センターを訪れました。市職員から、日々の生活で利用している水道水がどういった仕組みで、どういった設備を使って作られているのかなどの説明を受けました。市が所有している給水車も特別に用意され、実際に非常用水袋へ給水車から水をくむ体験をしました。初めての体験に、児童たちは興味津々な様子でした。

また、普段当たり前のようになっている水が、さまざまな工程を経て作られ、災害時などにはとても貴重なものとなることを教えられ、児童は「これからはもっと大事に水を使っていきたいと思った」と話していました。